



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2020

No. 22 (令和2年10月20日発行)

Change Maker Awards 出場生徒 てんみょう 天明小へフィールドワーク！

令和2(2020)年9月25(金)に、Change Maker Awardsという英語プレゼン大会に出場の高校生4名が、天明小へフィールドワークに行きました。



なぜ小学生は赤白帽をかぶっているのでしょうか？(答えは記事の中に)

■ Change Maker Awards とは？

中高生のための英語プレゼン大会のこと。書類審査と予選を勝ち抜いた生徒は、東京で行われる本選にて課題研究を発表し、その内容を競い合う。今大会のテーマは「私たち×SDGs」で、SDGsと関連した研究を行い、発表する。



彼らはSGHクラブディベート班に所属し、「ディベート×SDGs」をテーマに研究を進めています。今回は、ディベートを通じて小学生のSDGsの認知度を上げることを目的に、小学2年生、4年生、6年生でディベートの授業を行ってきました。

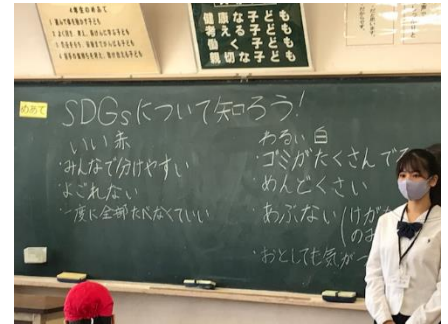
■ 小学2年生の授業

プラスチックゴミ問題について考えてもらうことを目的に、「エコバッグとレジ袋どちらがいい？」というテーマで授業をしました。小学2年生にディベートは難しすぎるため、エコバッグとレジ袋のメリット・デメリットを出し合いました。



■ 小学4年生の授業

2年生と同様、4年生もプラスチックゴミ問題を考えてもらうことを目的に、「おかしな小分けっていい？わるい？」をテーマに授業をしました。お菓子の過剰包装について賛成か反対か、自分の意見を赤白帽で表しました。小学生が活発に意見を出してくれたため、とても楽しい授業となりました。



■ 小学6年生の授業

働くことや経済活動について考えてもらうことを目的に、「コンビニエンスストアは24時間営業を続けた方がいいかどうか」というテーマで授業をしました。高校生がコンビニの24時間営業のメリット・デメリットをプレゼンした後、小学生同士で意見交換をしました。高校生のプレゼンの中には「夜中に不審者に襲われた際に逃げ込める場所の役割をコンビニが果たしている」など、今まで気づかなかったコンビニの意義が話されており、小学生は高校生の話をよく聞いていました。



■ 高校生の感想

私は6年生の授業を主に担当しました。反省点は多々ありましたが、何より小学生同士の話し合いがとても活発で、真剣にSDGsについて考えてくれたことがありがたかったです。また後日、下校中に私たちに気づいた天明小の子どもたちが「とても楽しかったです！」と話しかけてくれ、やってよかったと心から感じました。今回協力してくださっている方々に報いるような研究にできるよう、しっかりまとめていきたいです。
2年1組 新井 優平

ただでさえ難しいSDGsの概要を、どのようにして小学生に理解してもらうかという課題に対して、チームメンバーと共に、数ヶ月にわたって念入りに準備をし、授業を行いました。結果は成功に終わり、小学生からは「楽しかった」という声が聞こえて嬉しかったです。これからも学生という立場から、地域に貢献した活動を進めていきたいです。
2年2組 小林 杏珠

私たちが個人的に始めた研究に対し、これほどのご協力を頂けていることに驚いています。好意的に私たちを受け止めてくださった天明小の先生方や子どもたち、本当にありがとうございます。

今回のフィールドワークで「ディベートを通じたSDGsの認知度向上」という目的は達成できたと思います。しかし、ターゲットを広げていく上での問題点なども多く浮上しました。今後はそれらを踏まえ、内容の濃い研究を継続していきたいです。
2年2組 兵藤 かほる

自分たちが伝えたいことを、果たしてそのまま伝えて理解してもらえるのか？という疑問が常にありました。しかし、小学生たちは授業に積極的に参加してくれて、こちらの予想以上の内容にまで掘り下げてくれました。また、今回の授業を通して、自分の新たな面を見ることができた気がします。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。
2年4組 江部 青飛